

総合評価方式について（令和3年4月）

<概要>

1 基本的な考え方

公共工事については、現在及び将来にわたる工事の適正な施工及び品質の確保を図る必要性が高まっていることから、道路公社においても、価格に加えて技術力の優劣等を総合的に評価し、価格と技術力の両面から最も優れた者を落札者とする総合評価方式を導入します。

2 総合評価方式の対象工事

- ・ 一般土木工事 : 一般競争入札（5千万円以上WTO未満）→全工事で試行
- ・ 橋梁上部工(PC) : 一般競争入札（5千万円以上WTO未満）→全工事で試行
- ・ 橋梁上部工(鋼橋) : 一般競争入札（5千万円以上WTO未満）→全工事で試行
- ・ 建築一式工事 : 4千万円以上3億円未満 →全工事で試行

3 評価項目等における令和3年4月の主な変更点

①継続教育（CPDS・CPD）評価期間の緩和【全職種】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた評価期間の緩和

例）一般土木工事（5千万円～1億3千万円）

【現行】	【見直し】
前年度のCPDS（1級土木施工管理技士）単位取得状況(20単位)	<u>過去2年間</u> のCPDS（1級土木施工管理技士）単位取得状況(20単位)
・ 推奨以上 1.0点	・ 推奨以上 1.0点
・ 推奨未満 0.5点	・ 推奨未満 0.5点

② 工事成績評点の基準点引き上げ【全工種】

工事成績上昇による「企業の施工能力」の評価点数引き上げ

例) 一般土木工事（5千万円～1億3千万円）

【現 行】	【見直し】
過去3年間の土木一式工事の工事成績の平均点	過去3年間の土木一式工事の工事成績の平均点
・ 82点以上 3.0点	・ <u>83</u> 点以上 3.0点
・ 77点～82点未満 2.9～0.1点 (工事成績の平均点-77)×2.9/5+0.1	・ <u>78</u> 点～ <u>83</u> 点未満 2.9～0.1点 (工事成績の平均点-77)×2.9/5+0.1
・ 77点未満 0.0点	・ <u>78</u> 点未満 0.0点

③ 配置技術者の資格保有の追加【鋼橋】

品質向上を図るため配置予定技術者の資格保有評価を追加

橋梁上部工（鋼橋）

【現 行】	【見直し】
—	配置予定技術者の資格保有 ・ 1級土木施工管理技士又は 技術士（鋼構造及びコンクリート）

④ 受注工事量の評価見直し【建築】

受注機会の拡大を図るため受注工事量の減点評価の拡大

建築一式工事

【現 行】	【見直し】
・ 0件＝受注工事量 0.0点	・ 0件＝受注工事量 0.0点
・ 1件＝受注工事量 -1.0点	・ 1件＝受注工事量 <u>-1.5点</u>
・ 2件＝受注工事量 -2.0点	・ 2件＝受注工事量 <u>-3.0点</u>
・ 3件＝受注工事量 -3.0点	・ 3件＝受注工事量 <u>-4.5点</u>

※「企業の施工能力」の合計点の下限は0点

⑤ 橋梁上部工の評価項目の共通化【橋梁（PC・鋼橋）】

他工種との共通化及び品質管理を図るため施工実績及び配置予定技術者の表彰実績を追加

橋梁上部工

【現 行】	【見直し】
企業の施工能力 —	公共工事（国（九州内）、特殊法人、県、市町村、鹿児島県道路公社の同種工事 ・企業の施工能力：施工実績 0.5点
配置予定技術者の表彰実績 —	公共工事（国（九州内）、特殊法人、県、市町村の同種工事 ・配置予定技術者：表彰実績 0.5点